

中小企業

- [1] 中小企業者の努力の目標と、政策の目標をしめしている法律を何というか。中小企業の憲法ともいうべきもの。1963年に制定。
- [2] 製造業でいうと、資本金1億円以下か従業員 300人以下の企業を何というか。小売業やサービス業の場合は、資本金1000万円以下か従業員50人以下の企業。
- [3] 中小企業のなかでも、とくに企業規模の小さいものを何というか。日本では従業員5人以下という規模の企業が多く存在する。
- [4] 大企業にくらべて、中小企業の賃金は一般的に低い。この賃金水準の開きのことを何というか。
- [5] 労働者一人あたりの生産額の割合のことを何というか。中小企業は一般に、大企業にくらべてこの割合が低く、そのため賃金も低くなっている。
- [6] 中小企業の労働生産性が低い理由として、技術力や資金力が弱い点があげられるが、その他にも一つ理由を答えなさい。
- [7] 労働者一人あたりの資本設備額を何というか。機械化の比率のこと。
- [8] 大企業が請けおった仕事の一部を中小企業におこなわせることを何というか。
- [9] 中小企業が、特定の大企業に従属的に結びつけられていることを何というか。下請けの多くは、この形をとっている。
- [10] 近代的な工業と前近代的な第一次産業の併存、および大企業と中小企業が併存している日本経済のしくみをさして何というか。
- [11] 大企業がかかえている矛盾や不利な条件を、中小企業に押しつけてくることを称して何というか。
- [12] 製造業の中小企業は、大企業との競争だけでなく、最近は安い労働力を用いた外国製品との競争がはげしくなっている。とくにどいう国ぐにの追い上げがはげしいか、二つ答えなさい。
- [13] 先端技術の分野や情報産業などにおいて、高度な技術や独創的なアイデアで、意欲的な企業経営を展開する中小企業を何というか。
- [14] 農政の目的と基本方針を示した法律を何というか。農民の生活水準を引き上げることを、国に義務づけている法律。1961年に制定された。
- [15] 生産した農産物のほとんどが自家用で、経営耕地面積30アール以下の農家を何というか。
- [16] 経営耕地面積が30アール以上、または農作物販売額が50万円以上ある農家を何というか。全農家のうち、自給的農家をのぞいた農家。
- [17] 販売農家のうち、農業所得が主で、65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家を何というか。
- [18] 販売農家のうち、65歳未満の農業従事60日以上の方がいるが、農外所得を主とする農家を何というか。
- [19] 販売農家のうち、65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家を何というか。
- [20] 1960年代から兼業農家がふえてきたが、兼業化がおきた理由を二つ答えなさい。
- [21] 農業人口の減少、主業農家の減少に加えて、農業に従事する若年労働者が減少している。若年労働者が減少したためにおこってきている問題点を一つ答えなさい。
- [22] 貿易黒字を背景にして、外国産の農産物を輸入することがふえてきている。このことを何というか。
- [23] 長年、日米の懸案とされてきた農産物で、1993年に完全自由化となったものを二つ答えなさい。
- [24] 日米間の農産物自由化問題で、最後の交渉品目となった農産物は何だったか。
- [25] 米について、政府が管理してきた制度を何というか。1942(昭和17)年に制定された法律にもとづき、原則として、生産された米は政府が買い上げて流通させる制度。1995年、全面的改革になった。
- [26] 農家がつくった米は原則として政府が買い上げ、その際の価格は政府が決めることになっている。政府が買い上げる価格を何というか。
- [27] 政府の手をとさないで、農家から米穀卸商へ直接売ったり、消費者に売りわたされる米を何というか。流通量や流通経路は、政府が指定している。
- [28] 政府が買い上げた米を、売り渡す際の価格を何というか。
- [29] 食糧制度のもとで実施してきた、米の生産調整策を何というか。米の消費量が減少し、米の過剰が問題となっていたが、1993年の大凶作で、大幅な見直しが必要になった。
- [30] わが国で減反政策が実施されたのは何年からか。
- [31] ウルグアイ＝ラウンドの合意にともなって新たに制定された、米の需給と価格安定を目的とする法律を何というか。1995年11月から施行、米の生産・流通は大幅に自由化された。1942年いらいの食糧管理法は
- [32] 食糧消費量のうち、どの程度国内で自給されているかを示す割合を何というか。日本は、この割合が
- [33] 日米間の米(コメ)問題は1993年末に決着したが、最終的にどこの交渉で決着したか。
- [34] ウルグアイ＝ラウンドで合意された、農産物に関しての原則を何というか。
- [35] ウルグアイ＝ラウンドにおいて、日本の米は特例として6年間関税を猶予されることになったが、そのかわりにどのような措置をとる必要があるか。
- [36] 遺伝子組み替えなどの技術により、農作物の品種改良や新薬の開発などをおこなう生命工学のことを、カタカナで何というか。
- [37] 都市周辺の農村部にも人口が集中してきて、都市的な生活様式やものの考え方などが広まり、従来の農村が変化することを何というか。
- [38] 都市への人口集中がすすみ過密化してくると、公害・住宅難・地価高騰・交通難などの問題が発生する。これらをひとまとめにして何というか。
- [39] 人口と経済力が極度に集中している、東京・大阪・名古屋の3都市を称して何というか。
- [40] 無秩序な宅地開発によって、農地が虫食いの的に宅地化されることを何というか。

- [41] 地価の高騰によって、都心部は人の住まない企業の本社やサービス産業が立地し、住宅地はそれと
りかこむように郊外に広がることを何というか。
- [42] 下水道・ごみ処理施設・公園など、人びとの生活に密着している施設のことを何というか。日本では、
これの充実がおくれている。
- [43] 居住環境のゆたかさのことを何というか。生産活動中心の都市から、快適な居住環境をもった都市づ
くりがのぞまれている。
- [44] 都市生活をしていた人が、住宅難や自然環境の悪いことを理由に、アメニティを求めて出身地やその
近くの地方都市にもどることを何というか。
- [45] 若年労働者の農村・山村離れが原因となって、人口の減少と高齢化がすすみ、共同社会としての存
続が困難になっている状況を何というか。
- [46] 経済活動に必要な原材料やエネルギー源のことを何というか。
- [47] 石油・鉄鉱石・銅・すず・ボーキサイト・ウランなど、地下に埋蔵されている資源のことを何というか。
- [48] 海底深くに存在しているマンガン団塊などの資源を何というか。
- [49] 資源消費量のうち、どの程度外国に依存しているかをしめす割合のことを何というか。日本は、この割
合がきわだって高い。
- [50] 資源・エネルギーの効率的利用をはかることを何というか。オイル＝ショック後、日本をはじめとする先
進工業国で、きわめて重要な政策課題となっている。
- [51] 使用済みのものや、捨てられた資源・エネルギーを再利用することを何というか。
- [52] 太陽熱・地熱・風力・波力・水力・バイオマス(生物エネルギー)など、地球の自然環境そのものからえ
られるエネルギーのことを何というか。
- [53] エネルギーの源となっている、石炭・石油・天然ガス・水力・原子力エネルギーのことを何というか。
- [54] 石炭、石油、天然ガスなどを燃やすことによって得られるエネルギーのことを総称して何というか。
- [55] 一次エネルギーが変形・変換されてできる、電気や都市ガスなどのことを何というか。

中小企業 [模範解答]

- [1] 中小企業基本法
- [2] 中小企業
- [3] 零細企業
- [4] 賃金格差
- [5] 労働生産性
- [6] 資本装備率が低いため
- [7] 資本装備率
- [8] 下請け
- [9] 系列化
- [10] 二重構造
- [11] しわよせ
- [12] ASEANの追い上げ NIESの追い上げ
- [13] ベンチャービジネス
- [14] 農業基本法
- [15] 自給的農家
- [16] 販売農家
- [17] 主業農家
- [18] 準主業農家
- [19] 副業的農家
- [20] 農業と工業との間の所得格差 農地の高騰
- [21] 農業経営の高齢化
- [22] 農産物の自由化
- [23] 牛肉 オレンジ
- [24] 米(コメ)
- [25] 食糧管理制度
- [26] 生産者米価
- [27] 自主流通米
- [28] 消費者米価
- [29] 減反政策
- [30] 1970年
- [31] 新食糧法
- [32] 食糧自給率
- [33] ウルグアイ＝ラウンド
- [34] 例外なき関税化
- [35] ミニマム＝アクセス(最低輸入量)を国内消費量の4%から8%とする
- [36] バイオテクノロジー
- [37] 都市化
- [38] 都市問題
- [39] 三大都市圏
- [40] スプロール現象
- [41] ドーナツ化現象
- [42] 生活関連社会資本
- [43] アメニティ
- [44] Uターン現象, Jターン現象
- [45] 過疎化
- [46] 資源
- [47] 地下資源
- [48] 深海海底資源
- [49] 資源の海外依存度
- [50] 省資源・省エネルギー
- [51] 資源リサイクル
- [52] 再生可能エネルギー
- [53] 一次エネルギー
- [54] 化石エネルギー
- [55] 二次エネルギー